

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	戦傷病者福祉事業		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年度		担当課室	援護企画課		井原 辰雄		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅶ-5-1 戦傷病者、戦没者遺族等に対して、援護年金の支給、療養の給付等を行う				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	戦傷病者福祉事業助成委託費の交付について(平成25年5月28日厚生労働省発社援0528第3号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦に係る資料及び情報を収集し、保存し、展示することにより、後世代にその労苦を伝えることを目的とする「しょうけい館」を運営する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	193	185	184	162	158	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	193	185	184	162	158		
	執行額	193	179	184				
執行率(%)	100	96.8	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	しょうけい館の入館者数			人	108,721	122,378	131,437	前年度以上
			達成度	%	94.9	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	しょうけい館の入館者数			人	108,721	122,378 (前年度以上)	131,437 (前年度以上)	— (前年度以上)
単位当たりコスト	1,260(円/入館者数)		算出根拠	H24予算額 165,618,000円/H24入館者数 131,437人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	事務委託費	162	158					
	計	162	158					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業の目的である戦傷病者等の労苦を後世代に伝えることは国の責務であり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業の目的である戦傷病者等の労苦を後世代に伝えることは国の責務であり、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	戦傷病者等の労苦を後世代に伝えることは重要であり、優先度の高い事業である。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	実績を元に必要最小限の予算計上に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業は、しょうけい館運営事業費となっており、必要費目に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業では、戦傷病者等の労苦を後世代に伝えるための展示施設を運営し、多くの入館者数を集めていることから実効性の高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	事業開始以来、一定の入館者実績がある。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	本事業については、事業開始以来一定の入館者数実績があり、実効性の高いものとなっている。平成24年度入館者数も前年度以上となっており、予算規模、支出もそれに見合った適正なものとなっている。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	457	平成23年	415	平成24年	361

※平成24年度実績を記入(集計中のため、平成23年度実績)

戦傷病者福祉事業

厚生労働省

184百万円

戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世
代の人々に継承する。



A.(財)日本傷痕軍人会

184百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(財)日本傷痍軍人会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	しょうけい館の運営に必要な、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、借料及び損料等に係る経費	91			
人件費	しょうけい館の運営に係る職員給与	44			
事業費	しょうけい館の展示事業に必要な文献資料等購入費、証言資料収集費、資料保存管理費等に係る経費	34			
事務費	戦傷病者に対する健康診査等に係る消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等	12			
旅費	戦傷病者に対する健康診査等に係る医師等の旅費	2			
謝金	戦傷病者に対する健康診査等に係る医師謝金等	1			
計		184	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. (財)日本傷痍軍人会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本傷痍軍人会	戦傷病者に対し、各都道府県の区域の実状に応じ健康診査・健康相談、生活更正相談及び法改正等講習会を組織的に行うことにより、戦傷病者の福祉の増進を図ること及び戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする施設「しょうけい館」の運営を行う。	184		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					